

## 編集後記

多くの方々に支えられながら、横浜国立大学教育相談・支援総合センターの研究論集第20号の発刊となりました。関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

本号では、昨年につき、本センターが地域貢献の一環として行っている活動の1つである、対人援助職者を対象とした研修活動を、関係の先生方に「特集」として寄稿いただきました。編集委員長として、この場を借りて、関係の先生方に御礼申し上げます。

図らずも、昨年から世界的にみられるCOVID-19の感染拡大に伴い、私たちの生活は世界を巻き込んで、それまでの日常を一変させました。教育現場をはじめとして、子どもと関わる全ての人たちにとって、今までの常識が通用しない一年になっていることと拝察いたします。本センターも例外ではなく、様々に困難を伴う一年になりましたが、相談活動を実践させながら、本センターが担うべき機能や在り方を、改めて問い直す契機になったように感じています。

今後も、教育相談・支援総合センターにおける相談・支援活動はもとより、臨床心理学的な諸研究のより一層の充実のために、さらに誠実に注力していく所存です。

どうぞご一読いただき、ご忌憚のない意見、ご感想を頂戴できれば幸いに存じます。

(編集委員長 高本真寛)

本研究論集には、心理臨床および教育臨床の事例研究が記載されていますので、プライバシー保護のため、保管および取扱に十分ご配慮いただきたくお願いいたします。